

平成25年4月3日

野洲駅

野洲文化ホール 文化小劇場

# 第5回 野洲駅南口周辺整備構想検討委員会

野洲市政策調整部  
企画調整課地域戦略室  
(587-6141)



にぎわい健康ゾーン



# にぎわい健康ゾーン①

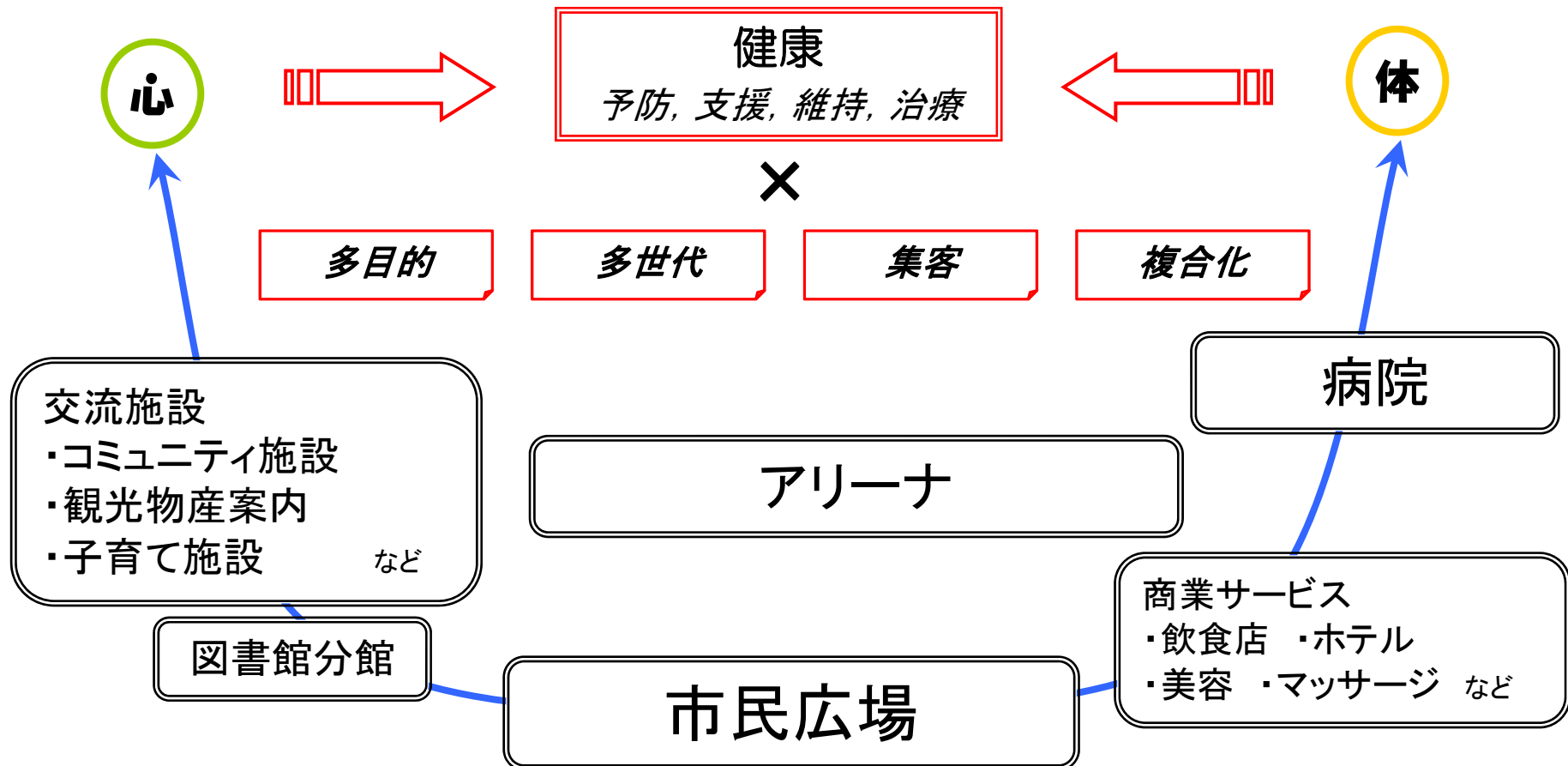
野洲駅南口  
周辺整備構想

## 「にぎわい」×「心と体の健康」

機能の選別

～これまでの意見から整理～

(注)決定事項ではありません





## にぎわい健康ゾーン②

### ○既存施設との整合性

市が所有している施設 施設名称	建築年		耐用 年数	経過 年数	主な機能
野洲文化ホール	昭和58年	1983	47年	30	コンサート、講演会、映画鑑賞など
文化小劇場	平成2年	1990	50年	23	講演会、演劇、美術展など
コミュニティセンターやす	昭和58年	1983	47年	30	集会や会議、グループ活動、研修など
野洲幼稚園	昭和55年	1980	47年	33	集団生活を通して社会性や自主性、忍耐性、協調性等を育てる
	平成16年	2004	47年	9	
野洲第1～6こどもの家	平成23年	2011	34年	2	労働等により保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、放課後等に安心・安全な居場所を提供する
南口駅前公衆トイレ	平成14年	2002	38年	11	男女トイレ(身障者含む)
市が所有していない施設					
駅前自治会館、おうみ富士農協野洲地区センター、野洲市給与所得者の会南口駐輪場、野洲駅前交番					



現在、既存施設が  
抱えている課題

設備や躯体の改修、特定の用途利用  
施設規模の不具合  
など

耐用年数や老朽化の見極め  
必要な機能に対する敷地の確保  
段階的な南口整備計画

平成45年頃  
南口の  
将来像



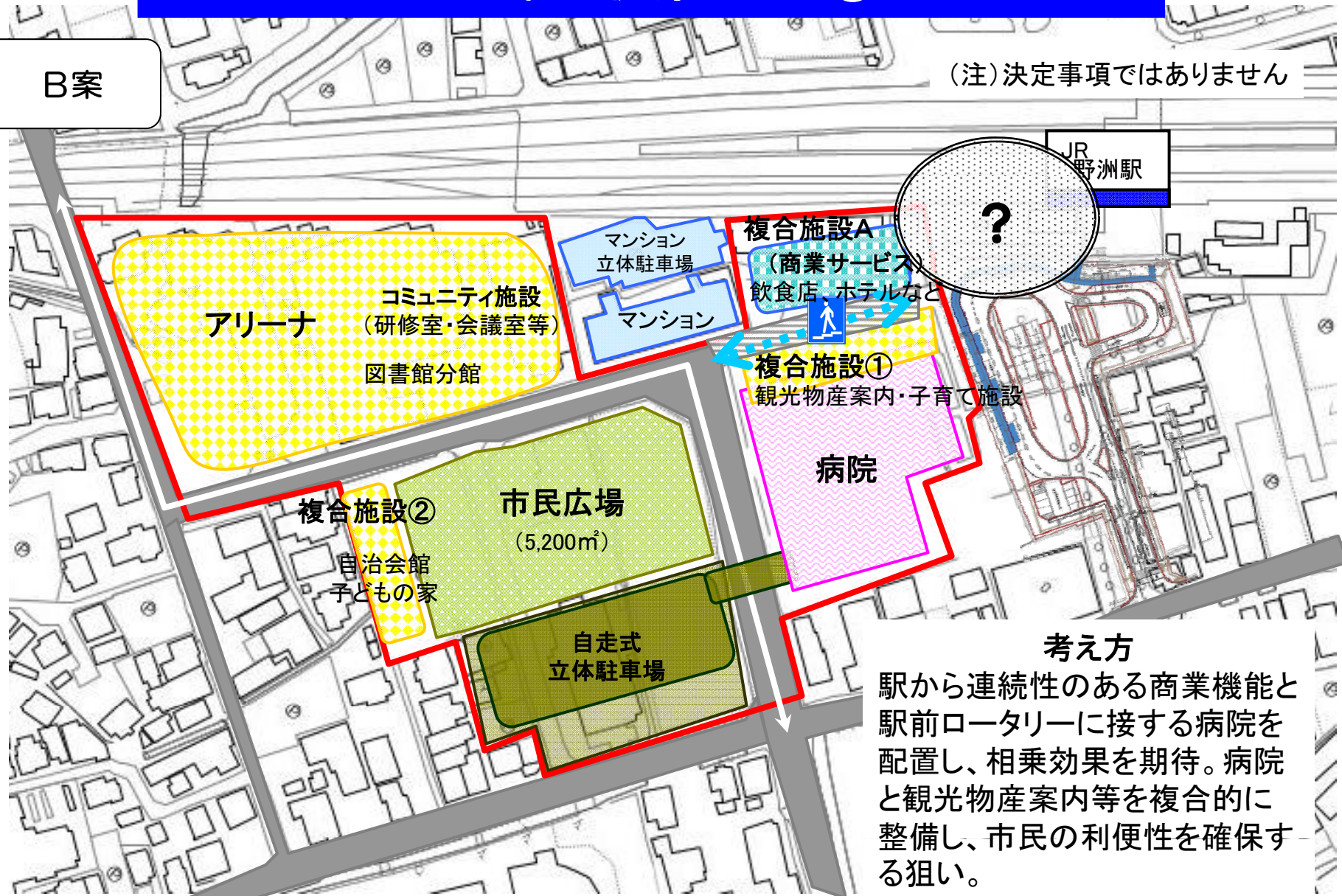




## にぎわい健康ゾーン④

B案

(注)決定事項ではありません



### 考え方

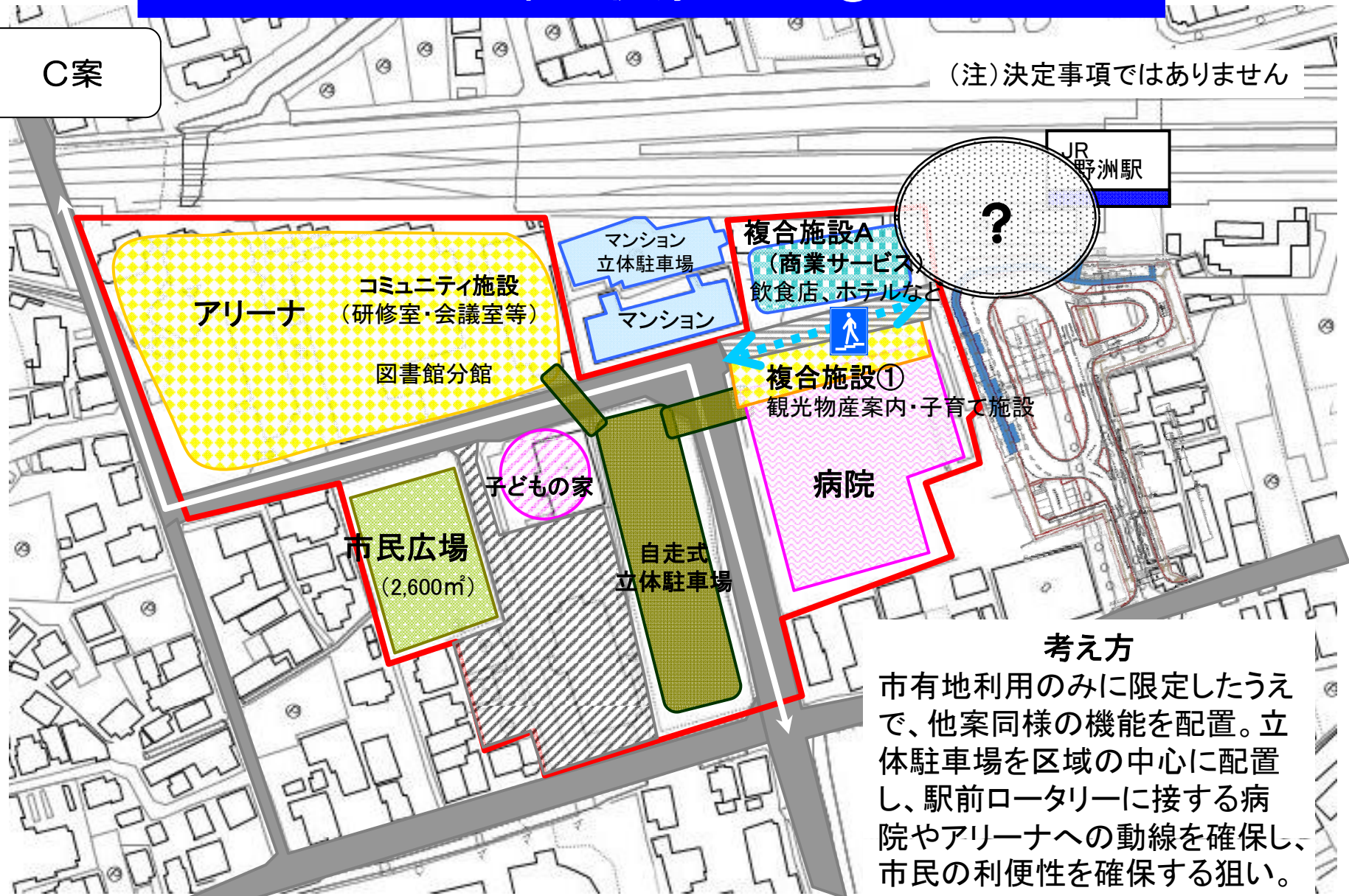
駅から連続性のある商業機能と駅前ロータリーに接する病院を配置し、相乗効果を期待。病院と観光物産案内等を複合的に整備し、市民の利便性を確保する狙い。



## にぎわい健康ゾーン⑤

C案

(注)決定事項ではありません



### 考え方

市有地利用のみに限定したうえで、他案同様の機能を配置。立体駐車場を区域の中心に配置し、駅前ロータリーに接する病院やアリーナへの動線を確保し、市民の利便性を確保する狙い。



# にぎわい健康ゾーン⑥

## ○各案の概要

(注) 決定事項ではありません

		A案	B案	C案
レイアウトの考え方		駅前から広がる市民広場とそれを囲む機能配置	中心に位置する市民広場と駅前病院の配置	駅前病院と他機能の配置(B案修正版)
施設	市民広場	約6,600㎡ ※道路含まず	約5,200㎡	約2,600㎡
	立体駐車場 (高さ3m/層)	約450台(10層) ※建築面積約1,400㎡ 想定される高さ:27m	約700台(7層) ※建築面積約3,200㎡ 想定される高さ:18m	約600台(6層) ※建築面積約3,000㎡ 想定される高さ:15m
特 徴		商業サービスを駅に最も近いところへ配置		
		アリーナを鉄道線路沿いに配置		
		シンボルとしての市民広場を中央に配置 市民広場を囲むように施設配置 病院が2方に接道 病院と駅前ロータリーが接していない 立体駐車場の接道が一つ	駅前の利便性を最も活用できる病院配置	
			病院と他機能を複合的に配置	
			駅前に大型施設が配置	
			病院へ駅前ロータリーからの車両侵入が困難	
			立体駐車場が2方に接道 立体駐車場が病院とのみ接続	立体駐車場が全体の中心に位置 立体駐車場が3方に接道 立体駐車場と各施設が接続
共通課題		市所有権利外不動産との調整、既存施設の段階的機能転換や移転、商業サービスの担い手確保、安全・円滑な動線の確保		

共通事項	交流施設	コミュニティ施設(研修室・会議室)、観光物産案内、子育て施設等
	図書館	自治会館、こどもの家等
	図書館	図書館分館
	アリーナ	現総合体育館と同規模、観客席:約4,500席
	病院	病床:199床
	商業サービス	飲食店、ホテル等



実現のための課題



# 実現のための課題①

## ○全体検討の流れ

実現性

持続性

### 機能の選別

- ・南口における市民活動拠点の決定

### 敷地の確定

- ・適切な規模と配置の検討
- ・民間所有不動産に関する調整  
(用地取得 など)

### 既存施設の 段階的整理

- 耐用年数や老朽化を見極めた上で、
- ・コミセン、自治会館の再編
  - ・文化ホール、小劇場のアリーナへの機能転換
  - ・野洲幼稚園のあり方の検討
  - ・こどもの家のあり方の検討

- ・野洲駅との連続性やJR西日本  
所有敷地（現コンビニ）
- ・周辺民有地への波及効果

### 事業費の捻出

- ・市財政の見極め
- ・国による支援制度の活用

### 南口整備の段階的計画

- ・事業期間の設定
- ・事業手法(主体)の検討  
→ 公民の役割分担(民間活力導入手法)
- ・施設の運営、管理の検討
- ・安全、円滑な動線の確保

### 市民が主役に

- ・既存施設の取り扱いには市民の理解が必要
- ・施設整備だけではにぎわい創出に直結しない
- ・市民が積極的に取り組むことのできる仕掛けづくりが重要



## 実現のための課題②

### ○各機能に対する課題

#### 市民広場

- ・周辺施設との一体感ある空間形成
- ・安全安心な空間形成(防災、防犯)
- ・持続的な運営、管理手法

#### アリーナ

- ・文化ホール、小劇場に変わる多機能型施設への転換
- ・総合体育館との機能の分担
- ・持続的な運営、管理手法
- ・定期的なイベント等の主催

#### 交流施設

- ・コミュニティ施設
- ・観光物産案内
- ・子育て施設 など

- ・コミセン、自治会館の機能継承と再編

#### 図書館分館

- ・駅前の利便性を活かした図書館機能の検討

#### 病院

- ・市の中核的医療拠点のあり方基本方針に基づく検討動向を注視

#### 商業サービス

- ・飲食店 ・ホテル
- ・美容 ・マッサージ など

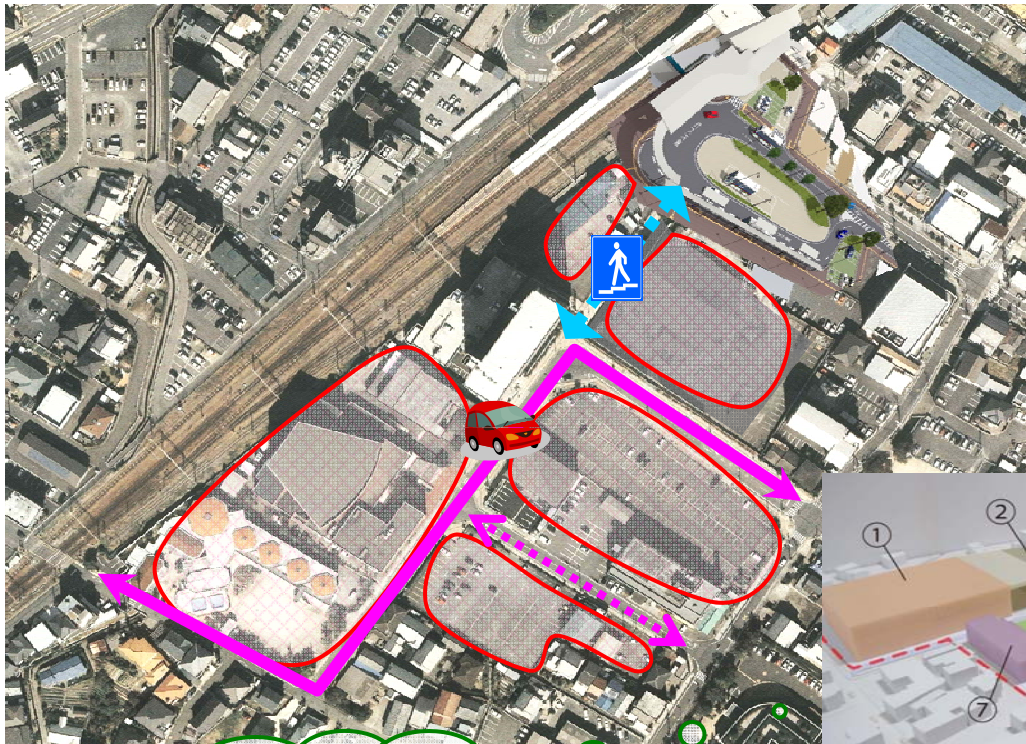
- ・事業手法(主体)の検討
- ・サービス提供の担い手の確保



# 検討項目

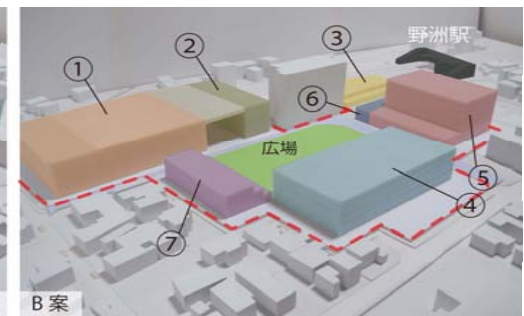
## 検討課題

南口に必要な機能は



模型から何が考えられる？

どんな課題がみえる？



視点 P3	A 案	B 案	C 案
① アリーナ		6000㎡	
② コミュニティ施設 図書館分室など		7000㎡	
③ 複合施設 A		3000㎡	
④ 立体駐車場	1400㎡×10層 14000㎡	3200㎡×7層 22400㎡	3000㎡×6層 18000㎡



南口にふさわしいにぎわい健康ゾーンは



## 事務局連絡先

野洲市政策調整部  
企画調整課 地域戦略室  
*TEL 077-587-6141*  
*FAX 077-586-2200*